



みらいん

みやぎの

「みらいん」は、
震災からの復興に向けて
歩むまち・仙台の“ひと”と“地域”の
今を結ぶ情報紙です。



今月のひと

お茶飲み交流から発展
はまなす蒲生・港の会

それぞれの生活を尊重し
仲良く、楽しく、和気あいあいと

震災前は挨拶を交わす程度だった住民同士が自主的なグループをつくり、ゆったりとした活動を続けています。災害危険区域に指定された中野四町内の蒲生と港出身で、借り上げ民間賃貸住宅に住む女性十一名からなる「はまなす蒲生・港の会」。二〇一二年夏のお茶飲み交流からスタートし、試行錯誤しながら手仕事品を製作・販売しています。「なぜか一番苦手の営業をしています」と苦笑するのは、同会窓口の小野たかさん（後列左から二番目）。「お金を出して買っていただくのだから」と、熟練した技術をもつ二名が製作に励み、他のメンバーは梱包や販売を担当するなど、それぞれが役割分担しています。二〇一二年からは蒲生町内会主催交流会のお世話にも「役買っており、二〇一三年の交流会では合唱などを企画・演奏し、参加者から好評を得ました。

メンバーにとってこの会は「気持ち共有でき、懐かしい蒲生の景色を思い出せる場」と、同声を揃えます。取材でお邪魔した日は二名が欠席されていましたが、今後も流れて任せたいゆるやかな活動を心情とする、はまなすたちです。

2014
1月

T7生



片桐みさほさん & 同居の
佐々木良子さん(娘)、佐々木宏道さん(孫)
(港)元営業職
皆さんとまた一緒にお茶飲みが
したいです。よろしくお願いします。

H2生



写真左から
鈴木美波さん(蒲生) 会社員 **小島由佳さん**(西原) 保育士
高橋里依さん(和田) 会社員
五十嵐絵梨香さん・結菜ちゃん(旧姓村上/和田) 主婦
この紙面を見た中野小同級生の方は連絡ください。バラバラになった皆
で集まってワイワイしたい!

H14生



滝口晴香さん(蒲生)
小学生
家でも学校でも1年間楽しく暮ら
せますように。算数と社会、苦手
だからこそ頑張りたい。

S53生



佐藤理香さん(南蒲生) 会社事務
皆に助けられたので、人に優しく
したい。あとは岡田体育振興会バ
レーボールとして県で優勝したい。

佐藤まなかさん(南蒲生) 小学生
バレーボールチーム・スプラッシュ
の主将として頑張りたい。家族全員
でディズニーランドに行きたい。

S29生



高澤みつ子さん&愛猫の春子ちゃん
(新浜)パート勤務
感謝する気持ちと、周りを明るく
する笑顔が心がけたいです。孫が
遊びに来るのが今の楽しみ。

H14生



大友菜月さん(和田)
小学生
中野小伝統の和太鼓を頑張りたい
のと、好きな本をたくさん読んで
物語も書きたいです。

S53生



鈴木鉄平さん(堀切)
会社員
我が子を岡田小学校に入れる為、
築300年の実家を修繕中。将来は
東京から戻り農業で仕事を興します。

S53生



片桐望さん(港)
会社員
新しい土地での生活が始まりまし
た。不安もありますが希望をもって
進みたいと思います。

午年生まれ大集合 みんなウマくいきますように

新しい年を迎えた皆さんの1年が全てうまくい
くように願いを込めて、年男と年女の方々から新
年の抱負を語っていただきました。なかなか会え
ない皆さんとの“紙上交流”をお楽しみください。

S5生



二瓶 廣さん(南蒲生)
専能寺世話係/老人クラブ相談役
若い頃から人の世話が好きで色
んな役職を務めてきた。今後、健
康に留意して世相を見届けたいね。

H2生



阿部純也さん(南蒲生)
大学生
今年は就職活動。公務員を目指
して勉強中です。保守管理や事務
職に就きたいです。

S17生



佐々木小四郎さん(堀切)
会社役員
海外旅行や温泉が好きで、鳴子
がお気に入り。健康が一番です
から体力づくりを心がけたいです。

S5生



庄子まさ子さん&愛猫のミミちゃん
(和田) 主婦
私の父の50回忌を迎える103
歳まで健康体で過ごせるよう
に、バカ語って笑って過ごしたい。

S17生



佐藤初雄さん(堀切)
造園業/農業
何事もお客様との信頼関係が大
事。体が丈夫な限り、樹木剪定の
仕事を続けたいです。

S17生



片桐由美さん(港)
パート勤務
家族が皆元気で、仲良く暮らせ
ればうれしい。1日も早い復興を願
います。

片桐政二さん(港)
自営業
健康で仕事を頑張りたい。息抜
きは震災を免れた道具でゴルフを
楽しむこと。

S41生

みらいん編集部は、毎日読者の皆さんと一緒にさまざまな催しや出来事に参加し、取材しています。その一部をご紹介します。

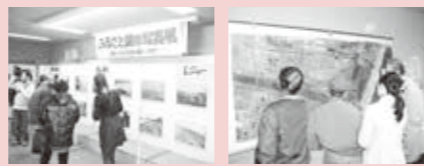
●11月14日(木) 「編物いっぽ」の一步
(扇町1丁目公園仮設住宅)



“部屋に閉じこもりがちな冬場に編物で交流を”と、ボランティアの細やかな指導を受けながら住民10名が熱心に「巻バラの花モチーフ編み」に挑戦。できあがったコースージュを胸元に、皆さんの頬もバラ色に輝きました。

●12月4日(水) ふるさと蒲生写真展
(高砂市民センター)

震災前の蒲生の風景写真を一堂に展示して同地区の姿を思い出してもらおうと、中野小学校区復興対策委員会、未来に伝えたい中野・岡田の会、東北学院大学菊池慶子研究室による合同企画「ふるさと蒲生写真展」が開催されました。震災発生からちょうど1000日目をあたるこの日1日限りで催されたもので、会場を訪れた皆さんは写真に収められた同地区の懐かしい風景を感慨深く見つめていました。会場にはカフェコーナーなども設けられ、それぞれに思い出を語り合っていました。



しい風景を感慨深く見つめていました。会場にはカフェコーナーなども設けられ、それぞれに思い出を語り合っていました。

わたしの近況報告

第18回

このコーナーでは、中野・岡田地区出身で現在は借り上げ民間賃貸住宅などにお住まいの方々にリレー形式でご登場いただきます。



鹿野さんご一家(中野・和田)

(左から時計回りに)豊さん、美智江さん、高子さん、富雄さん、樹君、桜ちゃん

和田地区を離れて

富雄さん夫妻と長男の豊さん家族は、それぞれ和田地区で生活していました。震災の日、富雄さんの妻、高さんが乳がんの手術を終えて退院した日でもありました。幸い、家族全員の無事が確認でき、翌日に合流して富谷町の親戚の家に3

元気の源はスポーツから

白鳥の暮らしにも慣れたと話す富雄さん夫妻は2015年春に子西の復興公営戸建住宅へ入居予定です。それに向かつて今は「定年が無いから頑張るだけだ」と個人タクシー業の富雄さん。「痛風持ちだけど、休肝日無しで毎日頑張ってる」と元気に笑う高子さん。最近では約30年前に地

元で結成したバレーボールチーム「中野ひより」のメンバーとの卓球、元のご近所さんとの飲み会、手芸と忙しい毎日です。

一方、地域のバレーボールチームで美智江さんが主将を務めるなど、多賀城市での生活になじんできた頃、豊さん一家は仙台港背後地の宅地が当選。新しい住まいが2014年夏前には完成し、桜ちゃんと樹君は福室小学校に転校予定です。

豊さんは少年野球チーム「中野スパローズ」の元メンバー。野球で国体出場経験のある富雄さんは、その時代のコーチを務めました。「男は野球、女はバレー。スポーツをやっている子どもは素直に育つ」という富雄さんをはじめ、家族の皆が2人の孫の健やかな成長を見守っています。

読者から
ひよりん

●原屋敷の土地に愛着があったから、家を建て直して二〇一三年夏に戻った。散歩しても人となかなか会わないうし、近所から子どもたちの声が聞こえなくなってきたね。今は植えたばかりの木が大きくなるのが楽しみ。「今からコツコツ植えてどうすんだ」って笑われるけど、木が一人前になるまで元気に過ごしたい。
庄司富蔵さん

●元気があった祖母が怪我をしてしまいました。狭いプレハブ仮設住宅での生活はなかなか大変ですが、一生懸命介護するので頑張って長生きしてほしいです。お世話している母にも長生きしてもらえるように、私も頑張ります。
佐々木宏道さん

●子どもの頃は貞山堀でシジミを、潟湖ではアサリも捕った。台風が去った後はナミノコというハマグリよりも少し大きめの貝が波打ち際にいっぱい寄せ集まっていて「海の銀座」なんて新聞が取材していったこともあった。蒲生は自然と遊んだ記憶がたっぷり詰まった場所なんです。
遠藤繁子さん

まちの語り場

集団移転、単独移転、現地再建…。沿岸部にお住まいだった方は今、お住まいの再建に向けて地域ごとに話し合いを進めています。このコーナーでは、それぞれの団体に話し合われている内容についてお知らせします。

南蒲生復興部

個々の生活再建と復興を迅速に進めるため、南蒲生独自の復興まちづくりを進めています。

十一月二十四日(日)定例合同役員会

内容

- 復興部の要望書に対する市の回答報告
- 南蒲生町内会津波避難訓練について

当日の様子

復興部からの要望に対する市の回答が報告されました。南蒲生浄化センター一号线と県道塩釜亘理線の交差点に関しては、二〇一三年度に設計を実施する予定。岡田地区各所の避難道路整備・拡幅などに対しては、主要避難道路の整備に加えて案内誘導サインの設置を検討することが報告されました。

一方、避難タワーのトイレ設置については、水洗式とするなど非簡易型を推奨する声が上がりました。なお、津波避難訓練は二〇一四年一月下旬に実施される予定です。



問い合わせ先
代表 芳賀正 080-1663-7382
定例会議 毎月第3木曜日
合同役員会 毎月最終日曜日
岡田会館

新浜町内会復興部委員会

安全安心を基本方針に、新浜の復興再建に重点を置いたまちづくりを目指しています。

十二月七日(土)定例会議

内容

- 新浜町内会通常総会の開催について
- 新浜町内会集会所新設について

当日の様子

新浜町内会の二〇一三年度の通常総会が、二〇一四年二月十六日(日)十時から、新浜町内会仮設集会所にて開催されることが報告されました。

また、現在の集会所が借受期限付きの仮集会所となっており、震災前の集会所の利用状況や、間取り・駐車スペースなどの使い勝手について聞き取りを行い、新設すべき集会所のイメージについて意見交換を行いました。そして今後も集会所新設に向けて、準備を進めていくことを確認しました。



問い合わせ先
代表 遠藤芳広 090-2020-4002
会合は随時開催
新浜仮設集会所

中野小学校区復興対策委員会

中野地区四町内会(港、蒲生、西原、和田)が「丸」となり、復興に向けた活動を行っています。

十二月一日(日)定例会議

内容

- 中野小学校の今後について
- 復興事業局から説明と報告

当日の様子

教育委員会から、保護者との話し合いの結果を踏まえ中野小学校を二〇一六年三月末に閉校することなどから、児童の移転先が多数の学区に分かれるため、特定の統合先は設定しないこと、また、閉校に向けた具体的事項を整理するための閉校準備委員会の設置案の報告がありました。復興事業局からは津波浸水区域での建替え・住宅修繕に対する支援拡充が示され、被災地宅地復旧助成制度について、助成金制度の申請期限を二〇一四年三月末から一年間延長することも報告されました。



問い合わせ先
委員長 高橋實 022-258-3068
定例会議
毎月第1日曜日16:00~
高砂市民センター2階会議室

※記載している内容は、各開催日現在での情報です。最新の情報については各団体へお問い合わせください

東日本大震災からまもなく三年。今、さまざまなかたちで支援が続いている方々がいます。支援を続ける方々は、どんな思いで活動しているのでしょうか。被災地で取材を続ける情報ボランティア@仙台の大学生記者が取材しました。

「私たち二人合わせてお多福会なんです！」。福永玲子さん（ふくちゃん）と五十嵐孝子さん（おたかさん）が声をそろえます。お多福会は、宮城野区などの仮設住宅で手工芸のワークショップを開いています。主に季節に合わせた小物をこしらえています。メガネストラップなど実用的なものをつくることもあります。



小物入れづくりのコツをアドバイスする福永さん（中央）と五十嵐さん（福永さんの左隣）

二〇一三年十一月末に宮城野区福田町南二丁目公園仮設住宅であった

ワークショップでは、小物入れづくりを行いました。集会所のテーブルには、材料となるガムテープの芯、工作用紙の型紙、型に合わせたさまざまな柄の生地などが並んでいます。参加者した九人の女性は、始まるのが待ちきれない様子でした。

五十嵐さんがつくり方を説明し、福永さんが一人ひとりに細かいアドバイスをしていきます。五十嵐さんの「ボンドで貼った材料を）しっかりとごいてくださいいね！」との声に「あなたのだんなしごくよくすりゃいいのよ！」と、すかさず冗談が飛び交いました。参加した六十代の女性は「二人はとっても面白くてありがたい存在。毎回とても楽しみです」と笑顔で話します。

二人は普段、NPO法人「みやぎ・せんだい子どもの丘」が指定管理している児童館に勤務しています。主

に勤務が休みの日を利用してワークショップを開いています。

活動の原点は、子どもの丘が協力していた仮設巡回図書館「ブックワゴン」でした。福永さんは本の貸し出しのかたわら、被災された方々と折り紙などを通して交流しました。活動が一区切りを迎えた二〇一二年、「もっと続けてほしい」との言葉をもらったことが、福永さんの心を動かしたといいます。同じく「ブックワゴン」でハンドマッサージの支援



参加者の冗談が飛び交い場が和む、お多福会ならではの光景です

ストもあり、二人はワークショップのメニューを増やそうと手芸教室に参加したりもしています。最近石巻市でも開くなど活動は広がりをみせています。「希望があれば、都合のつく限りどこへでも駆け付けたい」と口をそろえる二人。ふくちゃんとおたかさんの名に由来する「お多福会」のワークショップは、参加する皆さんに和気あいあいとしたひとときを提供しています。

1月の
手工芸ワークショップ日程

- 参加無料、直接会場へ
- 8日(水) 10:00～ 仙台港背後地6号公園仮設住宅
 - 16日(木) 10:00～ 港南西公園仮設住宅
 - 16日(木) 14:00～ 福田町南1丁目公園仮設住宅
 - 17日(金) 10:00～ 鶴巻1丁目東公園仮設住宅
 - 31日(金) 14:00～ 岡田西町公園仮設住宅

※手工芸ワークショップの開催を希望する方々のもとに出張もします。気軽にお問い合わせください。
問い合わせ/
NPOみやぎ・せんだい子どもの丘
022-343-8880

情報掲示板

仮設住宅やご近所で開催される催し物や相談会、支援団体による支援情報などを紹介します。

仙台市震災メモリアル・市民協働プロジェクト
「伝える学校」～1995年と2004年の震災アーカイブを伝える～

阪神・淡路大震災、新潟県中越地震の記憶を伝えることに取り組んできた方を招き、伝えるための独自の視点を学び共有しながら、震災の当事者である私たちが「経験したことを伝える」ことについて考えていきます。

対象 どなたでも参加できます

※参加無料、申込不要

日時 1月19日(日) 13:00～17:15

場所 仙台市市民活動サポートセンター市民活動シアター
(青葉区一番町4-1-3)

講師 高森順子氏(阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター)、山崎麻里子氏(長岡震災アーカイブセンター きおくみらい)

コーディネーター NPO法人20世紀アーカイブ仙台

問 022-214-8002 仙台市市民局市民協働推進課

健康応援団

健康についての講座や相談を行っています。地域の自主グループなどの運動の日もあります。(日程変更あり。詳しくは問い合わせを)

対象 どなたでも参加できます

日時・所 各仮設住宅集会所

▼高砂1丁目公園 1月24日(金) 10:00～

▼鶴巻1丁目東公園 2月4日(火) 13:30～

▼福田町南1丁目公園 1月20日(月)10:00～、2月3日(月)10:00～

▼岡田西町公園 1月14日(火)13:30～、1月23日(木)10:00～

▼港南西公園 1月10日(金)10:00～、2月7日(金)10:00～

▼仙台港背後地6号公園 1月22日(水)10:00～

▼扇町1丁目公園 1月17日(金)13:30～

▼扇町4丁目公園 2月12日(水)10:00～

問 022-291-2111(内線6782、6784)

宮城野区家庭健康課健康増進係

傾聴茶話会でお話してみませんか

仙台傾聴の会では、被災された方の、周囲にはなかなか言えない不安や悩みに耳を傾ける傾聴活動を行っています。温かく迎えてくれる会のメンバーの方々にお話してみませんか。申込不要、参加無料。

対象 どなたでも参加できます

日時 1月14日(火)、2月3日(月) 各日10:30～12:00

場所 仙台市市民活動サポートセンター

問 090-6253-5640 仙台傾聴の会(森山)

震災後の生活困りごと・こころの健康相談会

生活の困りごとと司法書士が、こころからだの健康相談に保健師や臨床心理士、保健福祉士が応じます。面接相談は予約制です。相談無料。

対象 生活やこころからだにお悩みをお持ちの方

日時 1月14日(火)、2月18日(火)、3月11日(火) 各日13:00～16:00

場所 宮城県司法書士会館(青葉区春日町8-1)

申・問 022-263-6755 宮城県司法書士会

被災された方と地域の方の交流イベント
「新春のどじまん」

2014年度に整備される幸町南復興公営住宅(仮称)の入居を考えている方、近隣の借り上げ民間賃貸住宅にお住まいの方、地域の方などさまざまな方を迎えて、のどじまん大会を開催します。楽しく歌いたい方、お茶を飲みながら観覧したい方はぜひおいでください。参加無料。

対象 楽しく歌いたい方 先着10名(事前に曲名をお伝えください) 観覧はどなたでも参加できます※1月15日(水)まで電話で要申込

日時 1月22日(水) 10:00～12:00

場所 幸町市民センター

問 022-291-1916 NPO法人アミューズおひさま

090-9741-6334(事務局・平塚)

支えあいセンターからのお知らせ

借り上げ民間賃貸住宅(以下、みなし仮設)にお住まいの方を支援する支えあいセンター主催の、おすすめサロン・イベント情報です。すべて参加無料。

サロン・イベント名	対象	時	時間	会場	内容	申込	問い合わせ
ぼっかぼか	七郷地域にお住まいの方	1月10日(金)	10:00～12:00	七郷市民センター	カルタ取り大会、ほか楽しい内容を予定	要(電話)	支えあいセンター わかばやし 022-781-0559
福沢サロン	福沢市民センター周辺にお住まいの方	1月10日(金)	13:00～15:00	福沢市民センター	リハビリテーション体育	要(電話)	支えあいセンター あおば 022-217-7234
ほのほの富沢サロン	太白区内のみなし仮設にお住まいの方	1月23日(木)	10:00～12:00	富沢市民センター	スクラップブックづくり	要(電話)	支えあいセンター たいはく 022-217-7234
だれでもサロン「まざらいん」	福室市民センター周辺のみなし仮設にお住まいの方	1月25日(土)	13:30～15:30	福室市民センター	“福室緑芝場”で演芸を楽しみましょう	要(電話)	支えあいセンター みやぎの 022-292-0990
黒松サロン	泉区のみなし仮設にお住まいの方	1月30日(木)	10:00～12:00	黒松市民センター	音楽を楽しみましょう(オカリナ演奏)	不要	支えあいセンター いずみ 022-772-5755

※その他の交流サロンについては、支えあいセンターからのダイレクトメールでご確認ください

新しい年を迎えて、振りかえると私も家族も一年前とは違った状況にあることに気づきま
す。正月のような節目は、改めて自分やまわり
を確認する良い機会なのかもしれません。

人生「ケセラセラ(なるようになるさ)」と私
らしく、思うように生きる、年齢になんて捕ら
われなくて「今でしょう」と、ちょい悪オバさん
気どりでおりましたが、先日「お墓をどうする
の」と、自分の『最後』を考える機会をいただき
ました。

『終活』という言葉をご存知ですか。人生の終
わりのための活動の略で「人生をより良く締め
くくるための準備」や「今をより良く、自分らし
く生きて行くための活動」とも言われています。
いつか来るその日よりも、つい「今でしょう」と
思ってしまうですが、今と最後の間には『これ
から』がありました。『これから』をどう生きる
かが、次の「今」と「最後」を左右するかと思
うと、何を優先すべきだろうか、大切な物は何か
しらと、さらに迷うことばかりです。

「ケセラセラ」と口ずさみながら、今年も迷
いの一年になりそうですが、皆様には素敵な一年
になりますように。

入江徳子(いりえ のりこ)
健康運動指導士として震災後、避難所や仮設住宅集会所で
指導を行っている健康増進センターのリーダー的存在

クロスワードパズル

出題
石田竹久

こたえ

A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---

1		2		3		4
	F			D		
		5				
6	7			8	9	
	10		11		12	
13			14	15		B
		16				17
				E		
18				19		
	A					

タテのカギ

- 1月14日、大崎八幡宮をはじめ県内各地で行なわれる小正月行事、〇〇〇祭
- 12月にGPファイナル優勝という快挙を達成した、仙台市出身のフィギュアスケート選手・〇〇〇〇結弦
- 人差し指と中指で平和のためにつくる、〇〇〇サイン
- 仙台市を代表する〇〇〇〇場といえば、泉区にあるアイスリンク仙台
- 曲がりネギや白菜、セリなど、仙台市では今が〇〇〇の野菜が豊富
- 俗に、〇〇〇物には福がある
- 仙台市の〇〇〇は38度、東経が140度
- 蔵王にあるえぼしスキー場では、1月25日に「えぼし雪上〇〇〇大会」が開かれます
- 逃げるウサギを非常に速いものにたとえて、〇〇〇の勢い
- 1月11、12日、マリナル女川おさかな市場で、女川港に水揚げされる「〇〇祭り」が開催されます
- 2月7日から開幕する冬季五輪。開催されるロシアの都市は?

ヨコのカギ

- 大作の書物などをすべて読み通すこと
- 耳たぶに小さな穴をあけて通す装飾品
- 太白区での都市計画、仙台南〇〇〇タウン
- 器具を使わないで行なう、〇〇〇体操
- 仙台市街から仕事終わりにスキー場でナイターを楽しむ方も多いでしょう。昨今は〇〇〇ボードも大人気
- 冬場でも仙台市の公園や野山の〇〇〇道で散策が楽しめます
- 杜の都といえば仙台市。〇〇といえば京都、奈良でしょうか
- 現在の宮城県の元となったのは、江戸時代の仙台〇〇
- 仙台駅から東京方面への電車が上りなら、青森方面に向かうのは?
- バレエなどで腰から足先まで着用され、防寒用にもなったり
- バイオリンよりやや大きく、チェロより小さい
- 五輪の聖火リレーで使いたいまつのこと。今回の冬季五輪で史上初めて、宇宙ステーションまで渡りました

前回のこたえ

A ク B リ C ス D マ E ス

でした。

1	ウ	2	チ	3	ケ	4	ト	メ
5	イ	カ		6	イ	ナ	リ	
	ン		7	キ	バ	8	ト	9
10	ク	11	ズ	12	ナ	メ	タ	
		13	ト	14	カ	イ		一
15	ア	16	マ	17	オ	フ	ダ	
		18	バ	19	ス	テ	パ	

編集
後記

1970年代に仙台港整備による立ち退きで、中野追分から安養寺へ集団移転した方々にお会いしました。「中野や蒲生は我々の故郷」と語り、皆さんのこれからの案じておられました。(おおが)

薪をくべて炊いたご飯は美味しい。昭和30年代頃までは多くの家庭で、炊事やお風呂沸かしに薪を使っていたと聞きます。電化製品が高性能化した時代でも、薪の魅力は途絶えません。(佐々木)

お住まいを移転される方へ

お住まいを移転されると、移転先に「みらいん」が届かなくなる可能性があります。引越し後も引き続き購読を希望される方は、編集部までご一報ください。

宛 先：〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-12 「みらいん」編集部
TEL：022-390-5755
FAX：022-390-5756 e-mail：kawara@mmmm.or.jp